

「環境創造シアター」は、直径12.8m(実際の地球の100万分の1の大きさ)の球体の内側すべてがスクリーンになっていて、360°全方位の映像を体験できるシアターです。

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が「シアター360°」として国立科学博物館に移設されました。「環境創造シアター」は「シアター360°」と同じサイズの全球型シアターで、福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」に設置されました。

映像と音に包まれる全球型シアターを体験しよう!!

2018年国立科学博物館オリジナル番組上映スケジュール

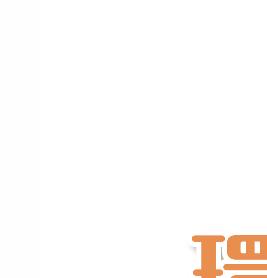
※国立科学博物館オリジナル番組は月替りで上映します。

1月 January	2月 February	3月 March
・宇宙 138 億年の旅 ・人類の旅	・海の食物連鎖 ・恐竜の世界	・マントルと地球の変動 ・宇宙 138 億年の旅
4月 April	5月 May	6月 June
・人類の旅 ・海の食物連鎖	・恐竜の世界 ・マントルと地球の変動	・宇宙 138 億年の旅 ・人類の旅
7月 July	8月 August	9月 September
・海の食物連鎖 ・マントルと地球の変動	・恐竜の世界 ・宇宙 138 億年の旅	・人類の旅 ・海の食物連鎖
10月 October	11月 November	12月 December
・恐竜の世界 ・マントルと地球の変動	・宇宙 138 億年の旅 ・海の食物連鎖	・人類の旅 ・恐竜の世界

1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30
A	A	A	A	A	A	A	A
B	A	B	A	B	A	B	C



環境創造シアター鑑賞時の注意

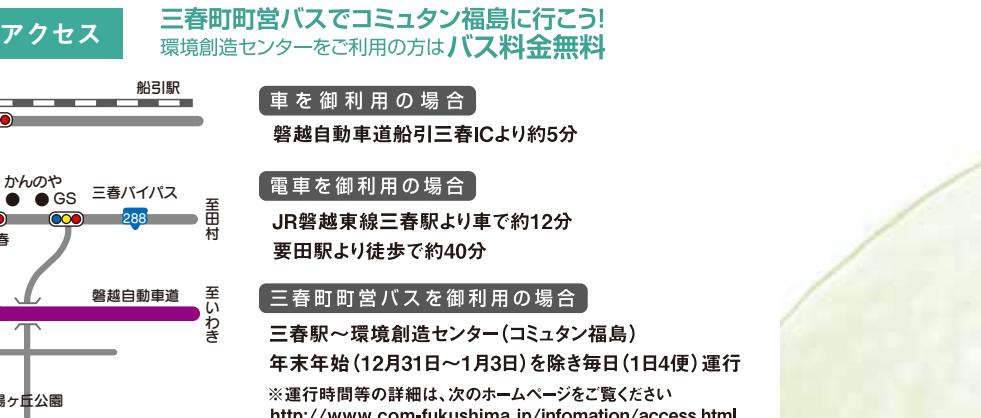


映像の特性上、浮遊感やスピード感があり、ご気分が悪くなるおそれがあります。特に
『小さいお子様』・『体調の優れない方』・『妊娠中の方』・『ご高齢の方』・
『心臓疾患をお持ちの方』などは十分ご留意ください。
また、『飲酒されている方』・『付き添いの者がいない未就学児童』の
ご入場はご遠慮願います。

コミュタン福島利用案内

- 開館時間 / 午前9時00分～午後5時00分
- 閉館日 / 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館料 / 無料(環境創造シアターの鑑賞も無料です。)

コミュタン福島へのアクセス



福島県環境創造センター交流棟 **コミュタン福島**
〒963-7700 福島県田村郡三春町字深作10番2号(田村西部工業団地内)
TEL.0247(61)5721 FAX.0247(61)5727
ホームページ <http://www.com-fukushima.jp/>

問い合わせ先

コミュタン福島

環境創造シアター

視聴ガイド



環境創造シアター
はどんなもの?



上映作品

コミュタン福島オリジナル番組

- ・『放射線の話』
- ・『福島ルネッサンス』
- ・『宇宙から見た地球環境』

国立科学博物館オリジナル番組

- ・『恐竜の世界』・『化石化から読み解く』
- ・『マントルと地球の変動』・『驚異の地: 内部』
- ・『宇宙 138 億年の旅』・『すべては星から生まれた』
- ・『海の食物連鎖』・『太陽からクロマグロをつなぐエコルギーの流れ』
- ・『人類の旅』・『ホモ・ナビエンス(新人)の歴史と進化の歩み』

タイムスケジュール

- A コミュタン福島オリジナル番組『放射線の話』・『福島ルネッサンス』(約56分)
- B 国立科学博物館オリジナル番組(2番組)上映(約10分)
- C コミュタン福島オリジナル番組『宇宙から見た地球環境』(約6分)

平日	9:00	9:30	1:00	1:30	1:00	1:30	1:00	1:30
土日祝日 学校長期休暇中	A	A	A	B	A	B	A	A

※上映開始時間は予告なく変更することがあります。

●放射線の話

◆ 身近な視点から放射線についてアプローチ

放射線は目に見えませんが、私たちの身の回りに確かに存在します。「放射線とは何か?」「体にどんな影響があるのか?」放射線について分かりやすく紹介します。

SCENE.1

『宇宙からの放射線』

放射線は目には見えませんが、宇宙にはたくさん飛び交っています。



SCENE.2

『自然の中の放射線』

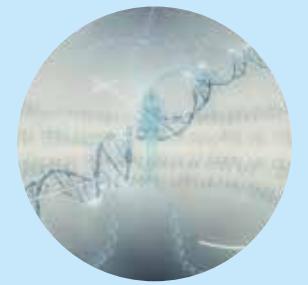
私たちは太古の昔から微量の放射線に囲まれてきました。



SCENE.3

『放射線って何?』

放射線は小さな粒子が持つエネルギーと電磁波の2種類あります。放射線には、もの通り抜ける性質があります。



SCENE.4

『人工の放射線』

福島第一原子力発電所事故により放射性物質が発電所の外に放出されました。私たちの生活空間の放射線の量を少なくする除染が行われてきています。



ナレーター
白羽 ゆり (しらはね ゆり)

福島県福島市出身。
1998年宝塚歌劇団入団。2005年「ベルサイユのばら」マリー・アントワネット役で星組主演娘役に就任。
2006年雪組主演娘役に就任し、「エリザベート」ではエリザベート皇后役を務めた。2009年5月に宝塚歌劇団を退団。
退団後も舞台、TV、映画を中心に活躍。

●福島ルネッサンス

◆『ふくしま』の美しい自然と豊かな文化を伝える

福島には四季折々の素晴らしい自然と長年受け継がれてきた伝統の祭りと文化があります。私たちは過去から引き継いだこの美しい自然や文化を守り伝えていかなくてはなりません。

SCENE.1

『Legacy (遺産)』

福島の自然や文化の壮大さ、美しさ、多様さを描き出し、受け継いできたものの豊かさと大切さを伝えます。



SCENE.2

『Renaissance (復興)』

福島第一原子力発電所事故からの「復興」へ向けた様々な取り組みや、悲劇に負けずに立ち上がった福島の姿を描きます。また、除染活動や農業、漁業、祭りの様子、再生可能エネルギー等の映像を通して、福島の今と未来を表現します。



SCENE.3

『エンディング』

大自然を俯瞰する映像や子供達の笑顔に取り囲まれる映像により、福島の未来を明るくしていく「希望の光」を表現します。



SCENE.4

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.5

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.6

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.7

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.8

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.9

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.10

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.11

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.12

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.13

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.14

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.15

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.16

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.17

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.18

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.19

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.20

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.21

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.22

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.23

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.24

『エピローグ』

人類は昔から自然放射線の中で暮らしてきました。放射線について学ぶことは、自然との共生、人類の未来を考える上で重要です。



SCENE.25

『エピローグ』